

「いのりの光 いやしの風
てるくふあ島 栗国」の実現にむけて
～観光振興で栗国村のむらづくりを！～



栗国村は沖縄本島・那覇市から北西に約 60 km の海上に位置し、近隣する離島でありながら、リゾート開発等が行われず、豊かな自然や村民生活に息づく伝統文化など、数多くの地域資源が残っています。私たちは地域の資源を活かし、積み重ねてきた伝統文化を継承しながら、活力のあるむらを次世代へ引き継いでいかななくてはなりません。

全国的に人口減少が進み地域経済の低迷が続くなか、活性化の手段のひとつとして観光による新たな雇用の創出や交流人口の増大を図ることが求められています。

国においては「観光立国の実現」を 21 世紀における日本の重要な政策の柱として位置づけ、観光立国推進基本計画に基づく様々な事業を展開しています。また、観光立国である沖縄県においては、観光産業は本県経済の自立的経済発展を担うリーディング産業として重要施策に位置づけられています。栗国村においては、平成 22 年 3 月に第 3 次栗国村総合計画「自然・ひと・暮らし ふくらしやる栗国 てるくふあ島」を策定し、観光拠点となる栗国村体験交流施設「島あしび館」の施設整備や「栗国村観光協会」の設立など、本村の観光振興を図るための取り組みをはじめたところです。

本村の観光振興の目的を一言で言うと、「住んでよし、訪れてよし」の栗国村を築きあげていくことです。島に暮らす村民が将来にわたって誇りと生きがいを持ちながら「住んでよかった、これからも住み続けたい」というむらづくりを推進すること、そしてさらには、多くの方に「行ってみたい、訪れてよかった、住んでみたい」を実感していただくむらづくりを推進することです。

この「栗国村観光振興計画」はその実現のための第一歩となるものです。今後 10 年間、この計画をもとに本村の観光振興を実施していくこととなりますが、私は村民、事業者、観光協会と協働のもと、観光振興に掲げた「いのりの光 いやしの風 てるくふあ島 栗国」をキャッチフレーズに、計画目標である「てるくふあ島でいやしと学びとふれあいと～「ア」のくにづくり」に実現にむけ、全力を傾注する所存であります。今後とも、村民皆様のさらなるご理解とご協力をお願い申し上げます。

おわりに、本計画の策定にあたり慎重かつ熱心に協議くださいました「栗国村観光振興計画策定委員会」の委員の皆さまや調査にご協力いただいた方々など関係各位へ厚くお礼を申し上げますとともに、この計画の趣旨が広く村民に行きわたり、むらづくりの一助になれば幸いです。

平成 24 年 3 月

栗国村長 新城 静喜

目 次

はじめに	1
(1) 背景と目的	1
(2) 観光振興の意義と役割	2
(3) 計画策定の体制	3
1. 計画課題の整理	5
(1) 栗国の魅力的な自然環境と島固有の伝統文化の保全・継承・活用	5
(2) 栗国らしい、こだわりのある「海の幸」「大地の幸」の推進	6
(3) 人と人とのふれあい交流による感動の創出	6
(4) 島内外ネットワークの強化	7
(5) 持続的・発展的なしくみの構築	7
2. 栗国村観光振興計画	9
(1) 基本的な考え方	9
1) 目標	9
2) 基本方針	11
(2) 観光振興にむけた施策	
1) 施策の体系	12
2) 施策の内容	14
3. 計画の推進に向けて	19
(1) 推進プログラム	19
(2) 観光振興の推進体制	29
1) 栗国村の観光振興における推進主体の主な役割	29
2) 観光振興の推進体制	30
3) 計画の進行管理	30
参考資料	
1. 栗国村観光振興計画策定の経緯	33
2. 栗国村観光振興計画策定委員会委員及びラウンドテーブルの名簿	34
3. 栗国村観光を取り巻く現状・課題等（計画課題の整理）	35